

対象	小学校 6 学年以上
教科	総合（環境）・理科
該当 単元	※外来生物の 対策を考えよう 小学 6 年 「生きものの くらしと環境」 ・日本にもともといた 生き物が減っている
教科書	東京書籍等
掲載日	2017. 6. 6. 朝刊 岐阜版 2017. 6. 19. 朝刊 12 版 27 面

外来アリの繁殖防げ

各務原 ことしも駆除剤設置

特定外来生物に指定されている「アルゼンチンアリ」の増加と生息範囲の拡大を防ぐため、各務原市内で五日、防除作業が行われた。

アルゼンチンアリは、体長約二・五センチ、茶褐色。在来種より細身で、一度に産む卵の数が多く繁殖力が強い。また、「食品に群がった」などの苦情が寄せられていた。一二年から駆除を始め、女王アリが生まれる六月と、

同市では二〇〇七年に生息が確認されてお



道路端に殺虫剤を置く市職員＝各務原市鵜沼東町で



アルゼンチンアリ
＝各務原市提供

卵がふ化して数が最も増える九月に、毎年殺虫剤を設置している。この日の作業には、市職員三十人が参加。作業着姿で軍手をはめ、約百鈴を分担して回った。道路端や公園などで三・五センチに、置き餌型の殺虫剤約六千四百個を設置した。効果がなくなる一週間後に回収し、市内

問1：アルゼンチンアリとヒアリの^{とくちょう}特徴を比べてみよう。

	体長	色	特性
アルゼンチンアリ			
ヒアリ			

四十力所で個体数の増えを調べるという。発生が確認されている市の担当者は「作業坂祝町でも、毎年四、六、九月に殺虫剤を設置している。今月は二に数件ほど。今後も続十五日から防除作業を続けていきたい」と話している。(鳥居彩子)

神戸港で新たにヒアリ100匹確認

強い毒を持つ南米原産のアリ「ヒアリ」が神戸港に到着した貨物船のコンテナから見つかった問題で、環境省は十八日、神戸港のコンテナヤードで新たにヒアリの発見したと発表した。目視で約百匹が確認されたという。



神戸港のコンテナヤードで発見された強い毒を持つ南米原産の「ヒアリ」＝環境省提供

神戸市は久元喜造市長をトップとする対策本部を設置。ヤードと住宅街は約二キロ離れており、市は現時点で「ヒアリの行動範囲に入っていない」としている。万が一のために徹底駆除するとしている。五月にコンテナから国内で初めて見つかり、環境省や神戸市が他にもいないか調査していた。市の担当者は「ヒアリは体長二・五センチ程度。全体は赤茶色で、腹は黒っぽい赤色。攻撃性が強く、刺されると呼吸困難などのアナフィラキシーショックを起す恐れがある。」

問2：各務原市内でアルゼンチンアリが確認されてから何年たちましたか。

()年

問3：神戸市が現時点で「安全が確保されている」としている理由を書きましょう。

住宅街がヒアリの()に入っていないから。

発展：自分の考えを書いた後、仲間と、この二つの記事について話し合みましょう。

自分の感想()

【活用にあたって】

今、自然環境の変化が様々な場面で注目を集めています。その土地には、その環境に適応した昔からの生物が生息していて、そこに外来生物が入ってくることで元からある生態系が崩れる状況は、現実起きています。

かつてのセアカゴケグモもアルゼンチンアリも、日本で初めて見つかった際には大きなニュースになりました。今回見つかったヒアリは猛毒をもつということで更に大きな話題となっています。子どもたちが自分の身を守るためにも、こうした記事を活用して考えさせていきましょう。

解答例

問 1 :

	体長	色	特 性
アルゼンチンアリ	約 2.5 ミリ	茶褐色	一度に産む卵の数が多く繁殖力が強い
ヒアリ	約 2.5～ 2.6 ミリ	赤茶色。腹は 黒っぽい赤	攻撃性が強く、強い毒をもつ

問 2 : 10 年

問 3 : 行動範囲

発展 : 自分の生活圏と離れていても、自分にもふりかかる可能生のある問題として捉えられるとよいです。